

令和2年度業務実績報告書 正誤表

公立大学法人 青森県立保健大学

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正																																																								
-	-	目次	<table border="1"> <tr> <td>□ 法人の概要</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>□ 全体評価（全体的実施状況）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（1）業務の実施状況について</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>（2）財務その他の状況について</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>（3）その他</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>□ 項目別実施状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）</td> <td><u>81</u></td> </tr> <tr> <td>4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</td> <td><u>93</u></td> </tr> <tr> <td>5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置</td> <td><u>99</u></td> </tr> <tr> <td>6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置</td> <td><u>103</u></td> </tr> <tr> <td>7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置</td> <td><u>114</u></td> </tr> <tr> <td>8 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画その他の計画</td> <td><u>119</u></td> </tr> </table>	□ 法人の概要	1	□ 全体評価（全体的実施状況）		（1）業務の実施状況について	7	（2）財務その他の状況について	10	（3）その他	10	□ 項目別実施状況		1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	11	2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	73	3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	<u>81</u>	4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	<u>93</u>	5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	<u>99</u>	6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	<u>103</u>	7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	<u>114</u>	8 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画その他の計画	<u>119</u>	<table border="1"> <tr> <td>□ 法人の概要</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>□ 全体評価（全体的実施状況）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（1）業務の実施状況について</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>（2）財務その他の状況について</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>（3）その他</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>□ 項目別実施状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）</td> <td><u>80</u></td> </tr> <tr> <td>4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</td> <td><u>92</u></td> </tr> <tr> <td>5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置</td> <td><u>98</u></td> </tr> <tr> <td>6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置</td> <td><u>102</u></td> </tr> <tr> <td>7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置</td> <td><u>112</u></td> </tr> <tr> <td>8 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画その他の計画</td> <td><u>117</u></td> </tr> </table>	□ 法人の概要	1	□ 全体評価（全体的実施状況）		（1）業務の実施状況について	7	（2）財務その他の状況について	10	（3）その他	10	□ 項目別実施状況		1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	11	2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	73	3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	<u>80</u>	4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	<u>92</u>	5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	<u>98</u>	6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	<u>102</u>	7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	<u>112</u>	8 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画その他の計画	<u>117</u>
□ 法人の概要	1																																																											
□ 全体評価（全体的実施状況）																																																												
（1）業務の実施状況について	7																																																											
（2）財務その他の状況について	10																																																											
（3）その他	10																																																											
□ 項目別実施状況																																																												
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	11																																																											
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	73																																																											
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	<u>81</u>																																																											
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	<u>93</u>																																																											
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	<u>99</u>																																																											
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	<u>103</u>																																																											
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	<u>114</u>																																																											
8 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画その他の計画	<u>119</u>																																																											
□ 法人の概要	1																																																											
□ 全体評価（全体的実施状況）																																																												
（1）業務の実施状況について	7																																																											
（2）財務その他の状況について	10																																																											
（3）その他	10																																																											
□ 項目別実施状況																																																												
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	11																																																											
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	73																																																											
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	<u>80</u>																																																											
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	<u>92</u>																																																											
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	<u>98</u>																																																											
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	<u>102</u>																																																											
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	<u>112</u>																																																											
8 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画その他の計画	<u>117</u>																																																											

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
7	7	全体評価 2 業務の全体的な実施状況	全体的な実施状況は、令和2年度計画 84 項目中、年度計画を上回って実施しているとするS評価が <u>10</u> 項目 (<u>11.9%</u>)、年度計画を十分に実施しているとするA評価が <u>72</u> 項目 (<u>85.7%</u>) ・・・(略)・・・	全体的な実施状況は、令和2年度計画 84 項目中、年度計画を上回って実施しているとするS評価が <u>11</u> 項目 (<u>13.1%</u>)、年度計画を十分に実施しているとするA評価が <u>71</u> 項目 (<u>84.5%</u>) ・・・(略)・・・
7	7	全体評価 3 項目別実施状況 (1)教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(教育)についての評価	教育に関する目標を達成するための措置については、39 項目のうち、S評価を <u>8</u> 項目 (<u>20.5%</u>)、A評価を <u>30</u> 項目 (<u>76.9%</u>)、B評価を 1 項目 (1.0%) とした。 ・・・(略)・・・ <u>(新規)</u> ・・・(略)・・・	教育に関する目標を達成するための措置については、39 項目のうち、S評価を <u>9</u> 項目 (<u>23.1%</u>)、A評価を <u>29</u> 項目 (<u>74.4%</u>)、B評価を 1 項目 (1.0%) とした。 ・・・(略)・・・ <u>・キャリア支援・人材輩出における「学部生の体系的なキャリア開発支援」(No.16-②)</u> <u>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年の就職活動ができにくかった学生を速やかに支援し、支援への満足度が高く、希望通りの就職ができていた。</u> <u>従来の支援に加え、状況に則した効果的な支援を企画し実施したことにより、これまで同様高い就職率を達成できたことから、計画以上の進捗と評価した。</u> ・・・(略)・・・
12	12	【1】入学者選抜方法 ② 入試の検証	ア <u>志願倍率は、学校推薦型選抜 2.6 倍、一般選抜（前期日程）2.6 倍、一般選抜（後期日程）15.0 倍であった。本年度からA〇入試を廃止し、学校推薦型選抜の各校2人までの枠を撤廃した。</u> ・・・(略)・・・ イ 休学・退学のうち、進路変更・学業不振を理由とする者は 4 人であり、一般選抜 2 人、学校推薦型選抜 2 人であった。 ・・・(略)・・・	ア <u>A〇入試を廃止し、学校推薦型選抜の各校2人までの枠を撤廃した新入試制度である令和3年度入試の志願倍率は、学校推薦型選抜 2.6 倍、一般選抜（前期日程）2.6 倍、一般選抜（後期日程）15.0 倍であった。</u> ・・・(略)・・・ イ <u>旧入試制度で入学した令和2年度に在籍している学生について、検討を行った。</u> 休学・退学のうち、進路変更・学業不振を理由とする者は 4 人であり、一般選抜 2 人、学校推薦型選抜 2 人であった。 ・・・(略)・・・

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
13	13	【2】学生募集方策 ① 学生募集の継続と新たな学生募集方策の検討・実施	・・・(略)・・・ 実施に向けて学生から <u>聞き</u> 取りを行った。 ・・・(略)・・・	・・・(略)・・・ 実施に向けて <u>高校生のキャリアサポートを行っているサークルメンバーから聞き</u> 取りを行った。 ・・・(略)・・・
14	14	【2】学生募集方策 ① 学生募集の継続と新たな学生募集方策の検討・実施	オープンキャンパス及びミニオープンキャンパスに参加上限で参加できなかった高校生（延べ <u>342</u> 人）への対応として、 ・・・(略)・・・	オープンキャンパス及びミニオープンキャンパスに参加上限で参加できなかった高校生（延べ <u>321</u> 人）への対応として、 ・・・(略)・・・
18	17	【2】学生募集方策 ② 高大連携事業の取組の推進	また、本学教員が高校を訪問し実施した大学説明会（進路ガイダンス）は、高校側からの要求に積極的に応じ、令和2年度実績は、13校15件（延べ）を実施した。（青森市内校2校、市外校9校、北海道・北東北校2校） なお、オンラインによる進学相談会は、4校であった。 <u>(新規)</u>	また、本学教員が高校を訪問し実施した大学説明会（進路ガイダンス）は、高校側からの要求に積極的に応じ、令和2年度実績は、13校15件（延べ）を実施した。（青森市内校2校、市外校9校、北海道・北東北校2校） なお、オンラインによる進学相談会は、4校であった。 <u>全体として、新型コロナウイルスの感染が拡大していたにもかかわらず、オンラインによる対応ができたため、昨年度と比べ、実績に大きな影響はなかった。</u>
22	21	【3】学生募集方策の検討及び実施 ① 学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への積極的な広報の推進	CNSコース（がん看護専門看護師コース）PRのために、専用のリーフレットを作成し、大学院入学案内パンフレットとともに送付した。 <u>その結果、2人が入学することとなった。</u> 第1及び2期の入試を通じて、博士前期課程では受験者13人中12人、博士後期課程では受験者5人中5人が合格し、入学した。	CNSコース（がん看護専門看護師コース）PRのために、専用のリーフレットを作成し、大学院入学案内パンフレットとともに送付した。 第1及び2期の入試を通じて、博士前期課程では受験者13人中12人（ <u>うち、CNSコース2人</u> ）、博士後期課程では受験者5人中5人が合格し、入学した。
28	27	【7】専門教育 ① 看護学科	(年度計画) イ 多職種と協働して健康課題について解決していく力を育成す教授法（遠隔授業を含む）の検討・実施・評価	(年度計画) イ 多職種と協働して健康課題について解決していく力を育成す <u>る</u> 教授法（遠隔授業を含む）の検討・実施・評価

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
			<p>(実績)</p> <p>イ 臨地実習が制限される中、「多職種協働による健康課題への解決」の教育の質を低下させないような教育の工夫を行った。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>また、<u>他</u>職種連携を現場で見る機会も減ったが、オンラインなどの工夫で学生の理解が深まった。</p>	<p>(実績)</p> <p>イ 臨地実習が制限される中、「多職種協働による健康課題への解決」の教育の質を低下させないような教育の工夫を行った。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>また、<u>多</u>職種連携を現場で見る機会も減ったが、<u>実習</u>（例：居宅訪問）で Web 会議システムを利用し、応急的に Wi-Fi ルーターを準備しリモート環境を作り、十分とは言えない中で居宅者とコミュニケーションとり、学習課題をゴールデンウイークで振り返り、学びを深めた結果、成績は例年同様であったことからオンライン使用下でも学生の理解を確保できた。</p>
30	29	<p>【7】専門教育</p> <p>② 理学療法学科</p>	<p><u>新型コロナウイルスの影響を受け、3・4年次の臨地実習は学内演習への変更を余儀なくされたが、専任教員のきめ細かな指導により、例年同様の教育内容を担保できたと判断する。</u></p> <p><u>国家試験合格率、就職率ともに例年通り高く維持できた。更に、大学院への進学が5人あるなど、研究への意欲を高めることができていると判断できる。</u></p> <p><u>これらのことから、計画通りの進捗であったと評価した。</u></p>	<p><u>新型コロナウイルスの影響を受け、3・4年次の臨地実習は学外実習施設の受け入れ困難なために、急遽学内演習への変更を余儀なくされ、新たな学内演習プログラムの作成と専任教員による少人数指導を継続し、例年同様の教育内容を担保できたと判断する。その結果、国家試験合格率、就職率ともに例年通り高く維持できた。</u></p> <p><u>更に、人材育成では理学療法の実践者と理学療法研究を併せて志向する4年生が例年より多く、大学院に進学した5人のうち本学大学院には3人入学し、青森県内の病院で勤務しながら地域医療に貢献と研究を意欲的に行うことが期待出来た。</u></p> <p><u>これらのことから、計画以上の進捗であったと評価した。</u></p>
36	35	<p>【7】専門教育</p> <p>③ 社会福祉学科</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>これら教育・学生支援活動により、社会福祉士国家試験合格者は28人（合格率60.9%）、精神保健福祉士15人</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>これら教育・学生支援活動により、社会福祉士国家試験合格者は28人（合格率60.9%）、精神保健福祉士15</p>

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
			<p>(合格率 93.8%) であり、<u>全国平均を大きく上回った</u>。就職率は 100% であった。</p>	<p>人 (合格率 93.8%) であり、<u>両者とも今年度の全国平均を大きく上回っていたが、社会福祉士の合格率に関しては、前年度 (令和元年度) の 84.3% を下回っている。その潜在的な要因としては、①一般就職者が例年より多く、社会福祉士国家試験受験者数自体が若干減少したこと、②合格率の全国平均値は 29% 台と合格が難しい試験であり、経年変動によって、平均値に近づいたこと、および、③社会福祉士国家試験受験者のうち、公務員合格者の中に同国家試験で不合格となったケースが少なからずあったこと (社会福祉主事任用資格が必要であり社会福祉士の取得は求められないため) が考えられる。今後は、経過を観察するとともに、公務員合格者に対して社会福祉士国家資格取得に向けた指導を強化していく予定である。</u></p> <p><u>また、就職率については、100% であった。</u></p>
41	40	<p>【9】大学院生の教育と研究推進 (博士前期課程)</p> <p>① 基礎科目の充実と地域の健康課題の解決に資する教育の充実・改善</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>教育や研究指導体制を強化するために、<u>博士前期課程の</u>「特別研究」担当の教員を 2 人増員した。</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>教育や研究指導体制を強化するために、「特別研究」担当の教員を 2 人増員した。</p>
44	43	<p>【10】大学院生の教育と研究推進 (博士後期課程)</p> <p>① 学際的視点からの地域の健康課題の解決に資する教育の充実・改善</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>教育や研究指導体制を強化するために、<u>博士後期課程の</u>「特別研究」担当の教員を 2 人増員した (No. 9-①再掲)。</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>教育や研究指導体制を強化するために、「特別研究」担当の教員を 2 人増員した (No. 9-①再掲)。</p>

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
45	44	【10】大学院生の教育と研究推進（博士後期課程） ② 研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募の促進	・・・(略)・・・ ヘルスプロモーション戦略研究センターの協力のもと、院生や研究指導担当教員に青森県保健医療福祉研究発表会（12月19日開催予定）での積極的な発表を促した。 ・・・(略)・・・	・・・(略)・・・ ヘルスプロモーション戦略研究センターの協力のもと、院生や研究指導担当教員に青森県保健医療福祉研究発表会（12月19日開催）での積極的な発表を促した。 ・・・(略)・・・
46	45	【10】大学院生の教育と研究推進（博士後期課程） ③ 研究成果の地域社会への還元	・・・(略)・・・ <数値目標> ・・・(略)・・・ 例えば、「保健・医療・福祉分野の関係機関での業務改善につながる成果の提供」として8件、「地域の人材育成につながる成果」として20件、 <u>その他（3件）として「地域と住民との関係」に関するコメントが地元新聞紙に掲載された。</u>	・・・(略)・・・ <数値目標> ・・・(略)・・・ 例えば、「保健・医療・福祉分野の関係機関での業務改善につながる成果の提供」として8件、「地域の人材育成につながる成果」として20件、 <u>その他の実績が3件で、うち1件は「地域と住民との関係」に関する記事が地元新聞紙に掲載されたものであった。</u>
46	45	【10】大学院生の教育と研究推進（博士後期課程） ④ ヘルスプロモーション戦略研究センターにおける研究・調査との連携の推進	・・・(略)・・・ 大学院における研究活動を周知するために、同センターとの共催で一般市民（高校生を含む）を対象として「大学院公開ゼミ」を学外3月20日（アウガ5階）及び学内27日（本学教育研究C棟）にて開催した（参加者数延べ82人）。	・・・(略)・・・ 大学院における研究活動を周知するために、同センターとの共催で一般市民（高校生を含む）を対象として「大学院公開ゼミ」を学外3月20日（アウガ5階）及び学内27日（本学教育研究C棟）にて開催した（参加者数延べ82人） <u>(No. 9-④再掲)</u> 。
51、53	50、53	【13】教室等の教育・学修環境の整備 ① 教育環境の整備	(実績) これらの取り組みの結果、前期はほぼ全ての実習が中止を余儀なくされたが <u>学内での演習でその内容を担保できた</u> 。後期は期間短縮等は <u>あったが</u> 臨地実習を安全に行うことができた。 <u>学生からは教員の細やかな指導について評価する声が聞かれた</u> 。 <u>開発した教材や整備した教材は今後の学修の質向上に寄与できるものとなった。</u>	(実績) これらの取り組みの結果、前期はほぼ全ての実習が中止を余儀なくされたが、後期は期間短縮等は <u>ありながら</u> 臨地実習を安全に行うことができた。 <u>卒業時満足度調査では、本学で学ぶことができた満足度、各々の学科で学ぶことができた満足度で肯定的な評価をした学生の割合は、94%であり、例年と同様の満足度を示した。</u> <u>月1回開催している教務委員会において、感染拡大の学生</u>

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
			<p>(自己評価) . . . (略) . . .</p> <p>新型コロナウイルス感染予防に対応するだけでなく、教育・学修環境の安全性・快適性・利便性を将来的にも向上させる取り組みができたことから、計画以上の進捗と評価した。</p>	<p><u>への教育への影響について協議した中で情報提供された教員からの意見は、「臨地実習を補完するための学内演習は、教材開発や指導を含め、教員に負担があるものであった。」、「学生にとって臨地での学修は実践力や創造力の育成に不可欠」という意見があった。一方、「高精度シミュレーターでは、逆に臨床で経験できない場面が経験でき、丁寧なフィードバックができ、学生の反応もよかった（看護）」、「遠隔での個別指導に通常よりも多くの時間を要した。学内演習で教員と接する機会が増加し、大学院進学等の研究への意欲につながる可能性がある。客観的臨床能力試験においても例年と変化がなく優秀な成績であった（理学療法）」、「臨地実習の補完のために臨地から実践家を招いたところ、実践家も快く協力してくれ、学生の学修も進み、今後も取り入れていきたい（社会福祉学科）」等が挙げられた。</u></p> <p>(自己評価) . . . (略) . . .</p> <p><u>学生の満足度に変化がなく、開発した教材や整備した教材は今後の学修の質向上に寄与できるものと考えられた。</u></p> <p>新型コロナウイルス感染予防に対応するだけでなく、教育・学修環境の安全性・快適性・利便性を将来的にも向上させる取り組みができたことから、計画以上の進捗と評価した。</p>

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
59	59	<p>【15】 学生生活支援</p> <p>② 修学支援制度等による経済的支援の継続実施</p>	<p>ア 経済的支援は既存の制度、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮した制度を実施した。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>① アルバイト収入が減少した学生に対する本学独自の授業料減免制度を実施した。県に対して、この減免制度の必要性を訴えたうえで支援を要請し、<u>授業料を減免した分は県からの補助を受けた。</u></p> <p>・・・(略)・・・</p>	<p>ア 経済的支援は既存の制度、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮した制度を実施した。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>① アルバイト収入が減少した学生に対する本学独自の授業料減免制度を実施した。県に対して、この減免制度の必要性を訴えたうえで支援を要請し、<u>所要額について県の9月補正予算により運営費交付金の追加交付を受けた。</u></p> <p>・・・(略)・・・</p>
68、70	68、70	<p>【16】 キャリア支援・人材輩出</p> <p>② 学部生の体系的なキャリア開発支援</p>	<p>(実績)</p> <p>ウ 女子学生のキャリア支援ホームページを継続運営した。これらの取り組みにより、就職活動が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたとする学生が71%に及んだが、卒業生満足度調査の結果、キャリア支援が十分だったとする学生は87%、就職先に満足している学生は94%であった。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>(自己評価)</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p><u>これまで同様高い就職率を達成できたことから、計画通りの進捗と評価した。</u></p>	<p>(実績)</p> <p>ウ 女子学生のキャリア支援ホームページを継続運営した。これらの取り組みにより、就職活動が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたとする学生が71%に及んだが、卒業生満足度調査の結果、キャリア支援が十分だったとする学生は87%<u>(令和元年度81%)</u>、就職先に満足している学生は94%<u>(令和元年度94%)</u>であった。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>(自己評価)</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p><u>従来の支援に加え、状況に則した効果的な支援を企画し、進路選択支援、就職試験受験への支援について、全学的な取り組みを実施したことにより、これまで同様高い就職率及び支援への満足度を達成できたことから、計画以上の進捗と評価した。(自己評価A→Sに変更)。</u></p>

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
79	78	【19】研究成果の活用 ① 研究成果の還元	エ 6月に知的財産ポリシーを改定した。それを受けて、7月の運営委員会で、 <u>過去の状況を踏まえて今後の方針を検討し、実施や収益の見通しの無い案件については、必要なヒアリングを経て、全3件について「打ち切り」を知的財産部会で決定した。</u>	エ 6月に知的財産ポリシーを改定した。それを受けて、7月の運営委員会で <u>過去の状況を整理し、今後の方針を検討した。具体的には、法人化（2008年度）以降、職務発明規定の整備や特許出願に向けた取り組みを進め、2020年度までに23件の職務発明届け出があり、6件で特許を取得した。その間に要した費用と実施特許（3件）における収入などを検討し、今後、実施や収益の見通しの無い案件については、必要なヒアリングを経て全3件について「打ち切り」を知的財産部会で決定した。</u>
82	81	【21】県民への学びの機会の提供 ① 公開講座、少人数ゼミ等の開催	・・・(略)・・・ そこでの参加者からの <u>フィードバック</u> を踏まえてより幅広い配信についての方法を検討し、「リハビリ編」「ケアマネ編」「保健医療編」のコンテンツを作成した。 ・・・(略)・・・	・・・(略)・・・ そこでの参加者からの <u>フィードバック</u> を踏まえてより幅広い配信についての方法を検討し、「リハビリ編」「ケアマネ編」「保健医療編」のコンテンツを作成した。 ・・・(略)・・・
87	86	【24】地域に必要な人材輩出 ① 若者の県内での活躍・定着を推進する事業	ア 新型コロナウイルス感染症拡大により、予定していた推進連絡会議及びセミナーの開催は中止せざるを得なくなった。それに代わる事業として、RAB青森放送と協働して一時間番組「 <u>おおもり</u> 再考学生と企業人の本音トーク！」を制作、放送（令和3年2月13日放送）した。 ・・・(略)・・・ <数値目標> 県内就職率は33.3%であり、過去3年間の平均33.6%をわずかに下回った。県内出身者の県内就職率54.3%、県外出身者のうち13人が県内就職し、過去最高人数になった。 ・・・(略)・・・	ア 新型コロナウイルス感染症拡大により、予定していた推進連絡会議及びセミナーの開催は中止せざるを得なくなった。それに代わる事業として、RAB青森放送と協働して一時間番組「 <u>おおもり</u> 再考学生と企業人の本音トーク！」を制作、放送（令和3年2月13日放送）した。 ・・・(略)・・・ <数値目標> 県内就職率は33.3%であり、過去3年間の平均33.6%をわずかに下回った。県内出身者の県内就職率54.3%、県外出身者のうち13人が県内就職し、過去最高人数 <u>に</u> なった。 ・・・(略)・・・

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
88	87	【24】 地域に必要な人材輩出 ② 地域定着枠関連事業	イ 地域定着枠合格者等の地域への理解の促進等 地域定着枠合格者のほか、学校推薦型選抜合格者のうち <u>希望者 56 人</u> を対象として、入学までの期間を有意義に過ごせるよう、課題テーマ「これからの地域社会について考える」について事前学習し、これからの保健医療福祉職に必要な、地域に関する事等について学ぶ研修会を企画・実施した。関連する学生キャリア開発科及び学生募集対策委員会と共同で開催した。	イ 地域定着枠合格者等の地域への理解の促進等 地域定着枠合格者のほか、学校推薦型選抜合格者のうち <u>参加者 54 人</u> を対象として、入学までの期間を有意義に過ごせるよう、課題テーマ「これからの地域社会について考える」について事前学習し、これからの保健医療福祉職に必要な、地域に関する事等について学ぶ研修会を企画・実施した。関連する学生キャリア開発科及び学生募集対策委員会と共同で開催した。
91	90	【24】 地域に必要な人材輩出 ③ 専門職者に向けた大学院進学への広報	・・・(略)・・・ CNSコース(がん看護専門看護師コース)のPRについてはリーフレットを作成し、大学院入学案内パンフレットともに各団体へ送付したり、大学院ホームページにアップロードしPRを強化した。 <u>その結果、本コースに2人が入学することとなった(No. 3-①の再掲)。</u> ・・・(略)・・・	・・・(略)・・・ CNSコース(がん看護専門看護師コース)のPRについてはリーフレットを作成し、大学院入学案内パンフレットともに各団体へ送付したり、大学院ホームページにアップロードしPRを強化した。 ・・・(略)・・・
91	90	【24】 地域に必要な人材輩出 ④ Uターン促進に向けた取組の検討及び継続実施	・・・(略)・・・ ※ <u>Uターンとは、進学・就職などの理由で現在の居住地に移った後、生まれ育った出身地に戻って就職もしくは転職すること。</u> ・・・(略)・・・	・・・(略)・・・ ※ <u>Uターンとは、進学・就職などの理由で現在の居住地に移った後、生まれ育った出身地に戻って就職もしくは転職すること。</u> ・・・(略)・・・
100	99	【33】 予算の適正かつ効率的な執行 ② 大学運営経費抑制の取組	ア 本学の主要委託業務である警備・設備保全業務、清掃業務、植栽業務を3年間の複数年契約とすることで、運営経費の抑制を図った。特に清掃業務委託については特定調達契約(一般競争入札)により大幅な経費節減となった。 ・・・(略)・・・	ア 本学の主要委託業務である警備・設備保全業務、清掃業務、植栽業務を3年間の複数年契約とすることで、運営経費の抑制を図り、 <u>年間を通しての金額ベースでは前年度に比べて 8.54%減少した。</u> 特に清掃業務委託については特定調達契約(一般競争入札)により <u>34.82%減少し、</u> 大幅な経費節減となった。 ・・・(略)・・・

修正前 頁	修正後 頁	見出し、中期計画 No.	誤	正
			ウ 令和2年度冬期に、新型コロナウイルス感染症対策として、教室の換気を強化することとし、外気調和機のフル稼働を実施した。これにより、電気及び重油の使用量は増えたが、重油の単価が減少したこと等により、年間を通しての金額ベースでは前年度に比べて減少した。	ウ 令和2年度冬期に、新型コロナウイルス感染症対策として、教室の換気を強化することとし、外気調和機のフル稼働を実施した。これにより、電気及び重油の使用量は増えたが、重油の単価が減少したこと等により、年間を通しての金額ベースでは前年度に比べて <u>5.48%</u> 減少した。
102	101	IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 大項目評価（大項目の進捗状況）	【経費の抑制】 ・・・(略)・・・ ・ 本学の主要委託業務である警備・設備保全業務、清掃業務、植栽業務は3年間の複数年契約とすることで、運営経費の抑制を図 <u>っている。</u>	【経費の抑制】 ・・・(略)・・・ ・ 本学の主要委託業務である警備・設備保全業務、清掃業務、植栽業務は3年間の複数年契約とすることで、運営経費の抑制を図 <u>り、全体の金額ベースでは 8.54%前年度を下回った。</u>
116	114	【41】人権啓発・法令遵守 ② 法令遵守の推進	・・・(略)・・・ また、不正行為防止や法令 <u>順守</u> については、eラーニングによる「コンプライアンス研修」を実施した。	・・・(略)・・・ また、不正行為防止や法令 <u>遵守</u> については、eラーニングによる「コンプライアンス研修」を実施した。